

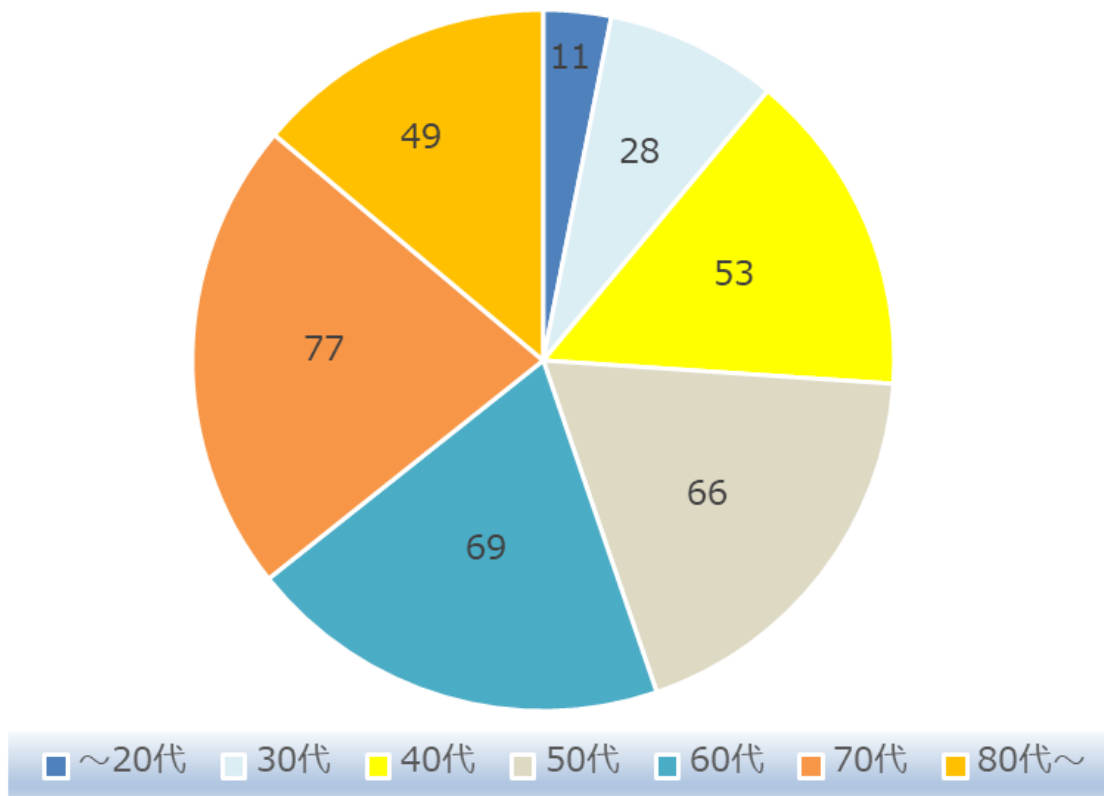
令和7年1月24日から2月21日まで無作為で抽出した市民1,100世帯を対象に公共施設のあり方に関するアンケート調査を実施しました。

全353世帯から回答があり、回答率は32.1%でした(2月21日時点)。

(※2月27日時点で回答数366件、回答率33.3%)

1.あなたの年代をお答えください。

1.~20代	2.30代	3.40代	4.50代	5.60代	6.70代	7.80代~
--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------



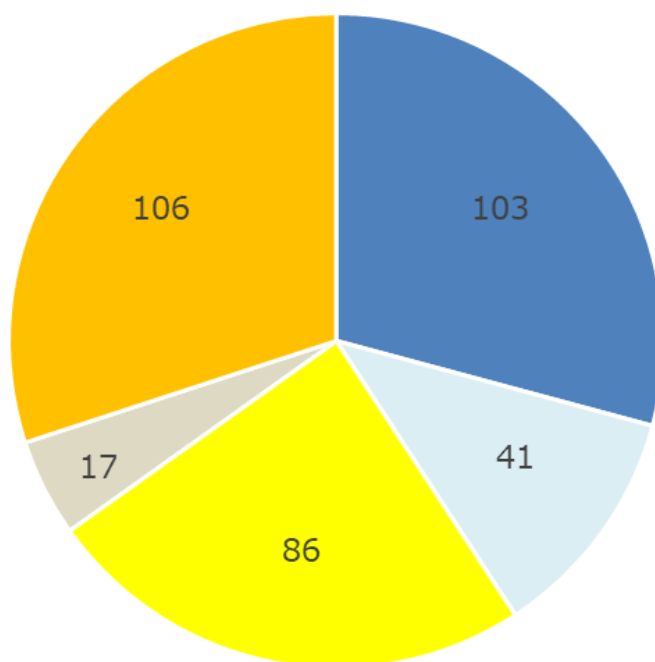
※発送数に対する回答率は以下のとおりです。

~20代 : 20.4%、30代 : 31.5%、40代 : 34.6%、50代 : 33.0%

60代 : 37.5%、70代 : 33.3%、80代~ : 25.9%

2.あなたのお住まいの地区をお答えください。

1.東部地区 2.西の里地区 3.大曲地区 4.西部地区 5.北広島団地地区



■ 東部地区 □ 西の里地区 ■ 大曲地区 ■ 西部地区 ■ 北広島団地地区

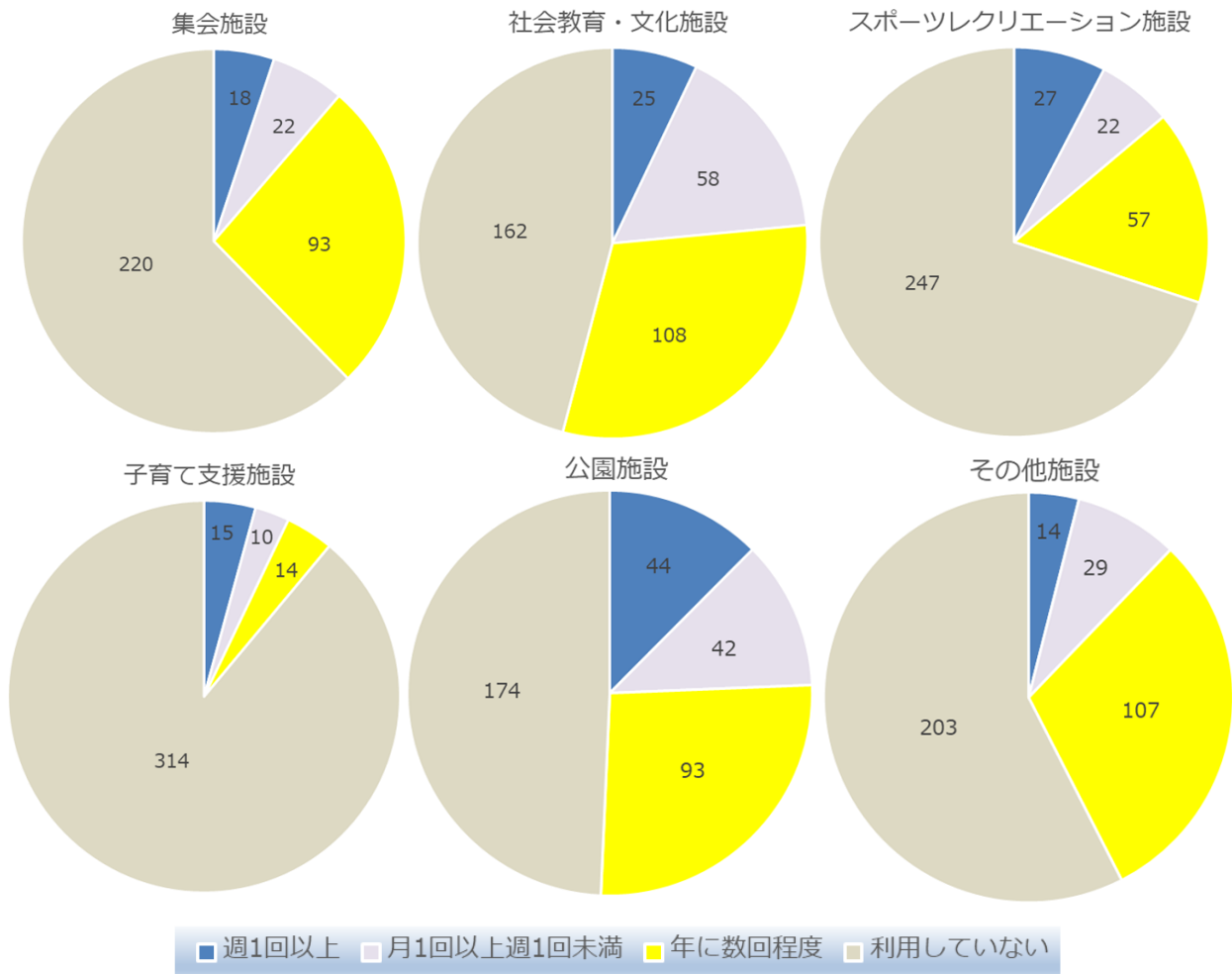
※発送数に対する回答率は以下のとおりです。

東部：32.4%、西の里：36.0%、大曲：27.8%、西部：25.8%

北広島団地：36.2%

3.あなた(世帯員含む)は過去 1 年間で、市の公共施設をどれくらい利用しましたか。

【施設分類】			
・集会施設(集会所、地区会館)			
・社会教育・文化系施設(公民館、図書館、芸術文化ホール)			
・スポーツ・レクリエーション施設(体育館、プール、レクの森、キャンプ場)			
・子育て支援施設(保育園、児童センター、学童クラブ)			
・公園施設			
・その他施設(斎場、霊園、市営駐輪場・駐車場等)			
【利用頻度】			
・週 1 回以上	・月 1 回以上週 1 回未満	・年に数回程度	・利用していない

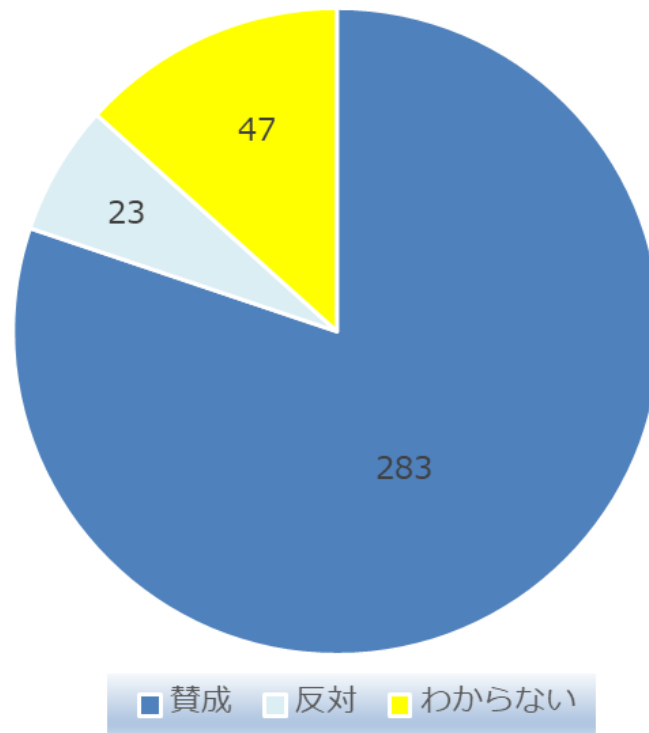


※最も利用頻度が高い施設分類は「社会教育・文化系施設」、となっており、約 5 割強の方が年 1 回以上利用すると回答しています。

利用世代が限定される子育て支援施設を除くと利用頻度が低い施設分類は「集会施設」、「スポーツ・レクリエーション施設」となっており、約 6~7 割の方は利用していないと回答しています。

4.高齢化の進行等に伴い、全国的にも社会保障関連経費(医療、年金、介護、生活保護など)が増加傾向にある中、北広島市も所有する公共施設を現在と同水準で維持していくことが困難になります。施設の規模や配置を見直すことについてどのように思いますか。

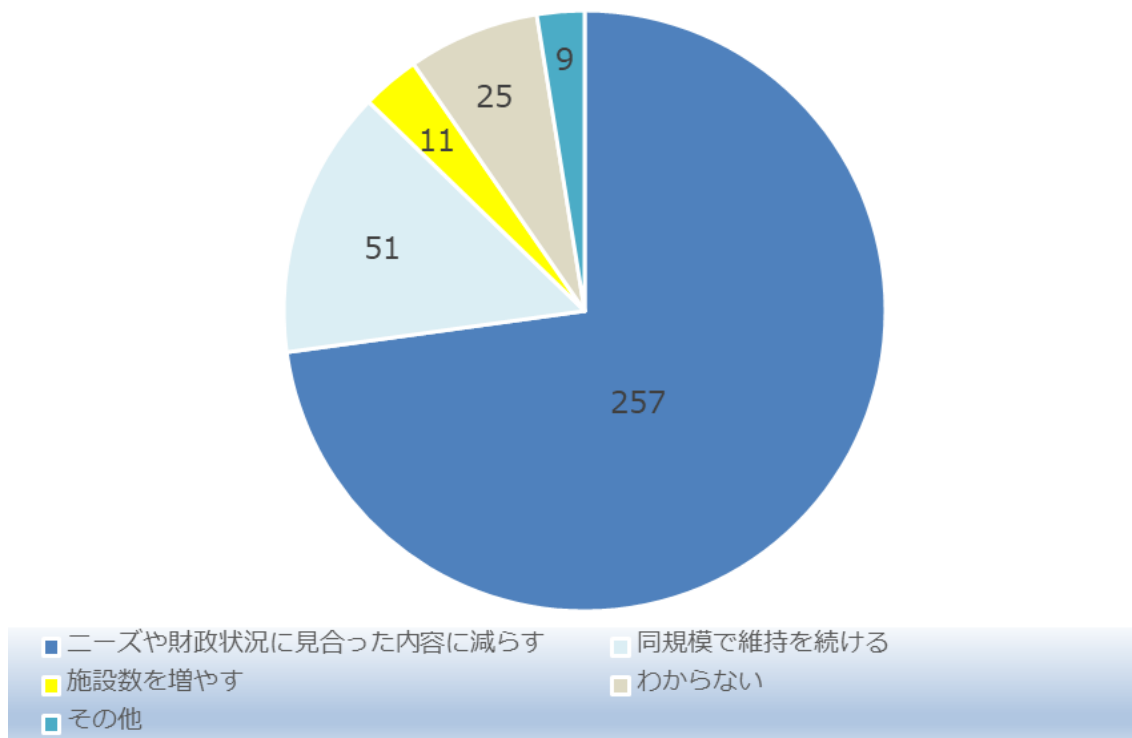
1.賛成 2.反対 3.わからない



※約 8 割の方が施設規模や配置を見直すことに賛成と回答しており、見直しに一定程度の市民理解は得られている結果となっています。

5. 今後、公共施設の整備や管理運営については、どのように進めるべきだと思いますか。

- 1. 公共施設の役割や効果を整理し、市民ニーズや財政状況に見合った内容に減らす
- 2. 既存の公共施設は現状のまま維持し、寿命を迎えた施設は同規模で建替える
- 3. 公共施設は不足しているので、他の経費を削減してでも施設数を増やすことを考える
- 4. わからない
- 5. その他

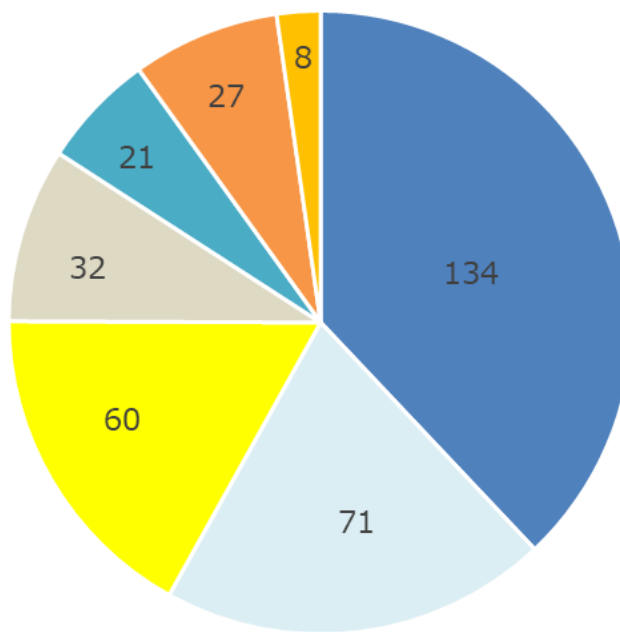


※今後の施設整備や運営について、「公共施設の役割や効果を整理し、市民ニーズや財政状況に見合った内容に減らす」といった回答が約 7 割強を占めています。

なお、同水準で維持及び施設数増を望む回答も約 2 割弱ありました。

6.コスト縮減や財源確保に向けた取組みについて、どのように進めるべきだと思いますか。

- 1.今ある建物を有効活用し、他施設と複合化することで、新設・更新費用を縮減する
- 2.民間のノウハウを活用(外部委託、民営化等)し、人件費や維持管理費を縮減する
- 3.最小限必要な公共施設のみを残し、財源を捻出する
- 4.他の事業の見直しや廃止等を行い、その縮減分を公共施設の維持・更新に充てる
- 5.公共施設を利用している人の負担(使用料、利用料等)を増やす
- 6.わからない
- 7.その他

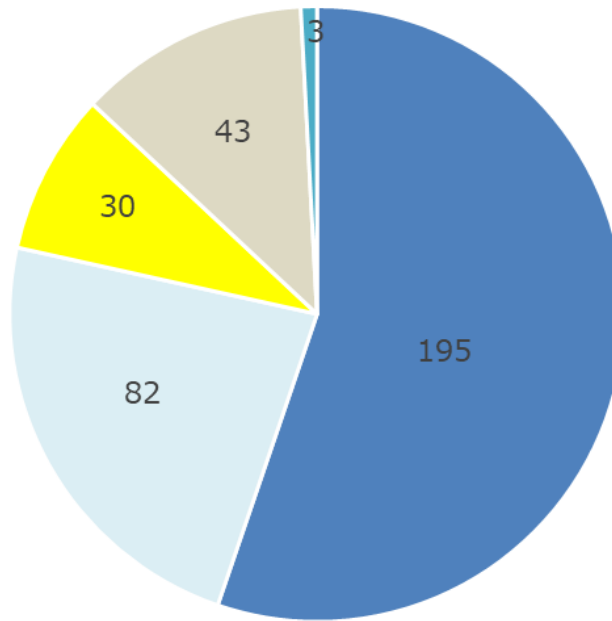


■ 複合化 □ 民間活力 ■ 最小限のみ維持 □ 他事業の見直し ■ 利用者負担増 ■ わからない ■ その他

※約 5 割強の方が複合化や必要最小限の施設を残すといった施設数の縮減によりコスト縮減や財源確保をすべきと回答しています。一方、民間活力の活用、他の事業の見直しや利用者負担増により、施設数の維持を望む方も約 3 割強を占めています。

7.市内 5 地区内で類似した機能を持つ公共施設の今後のあり方についてどのように思いますか。

- 1.類似した機能を持つ公共施設は集約化していくべき
- 2.すべての公共施設について存廃の検討を行うべき
- 3.利用者の利便性を考え、市民負担を増やしてでもすべての公共施設を存続させるべき
- 4.わからない
- 5.その他



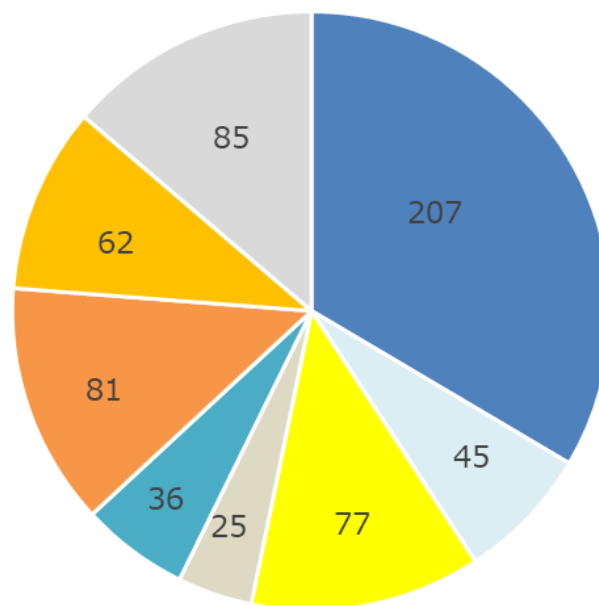
■ 類似施設を集約化 □ 全施設で存続を検討 ■ 全施設を存続 ■ わからない ■ その他

※類似した機能を持つ施設だけではなく、すべての公共施設の存廃を検討すべきとの回答が約 8 割弱を占めています。

一方、1 割弱の方は利用者負担を増やしてでも施設の存続を望んでいます。

8.今後、公共施設を削減することが必要となった場合、どのような分類の施設から検討するべきであると思いますか。優先順位が高いものを3つまで選択してください。

- 1.集会施設(集会所、地区会館)
- 2.社会教育・文化系施設(公民館、図書館、芸術文化ホール)
- 3.スポーツ・レクリエーション施設(体育館、プール、レクの森、キャンプ場)
- 4.子育て支援施設(保育園、児童センター、学童クラブ)
- 5.行政系施設(庁舎、出張所、消防署)
- 6.公園施設
- 7.その他施設(斎場、霊園、市営駐輪場・駐車場等)
- 8.わからない

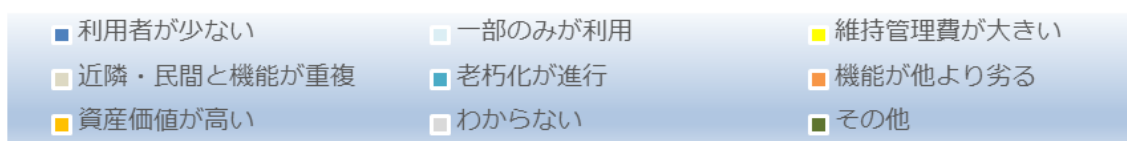
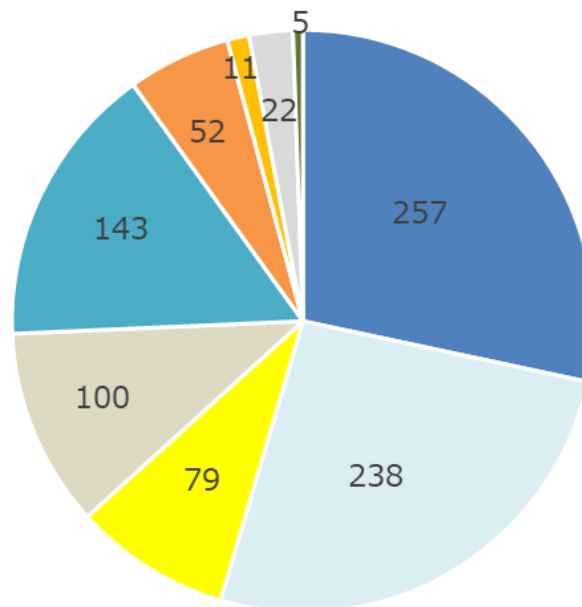


※回答数が多い順に「集会施設」、「公園施設」、「スポーツ・レクリエーション施設」となっています。

特に集会施設は約3割の方が削減を検討すべきと回答しています。

9.今後、公共施設を削減することが必要となった場合、どのような状況の施設から検討するべきであると思いますか。優先順位が高いものを3つまで選択してください。

- 1.利用者が少ない公共施設
- 2.一部の個人や団体にしか使われていない公共施設
- 3.維持管理費が大きい公共施設
- 4.近隣自治体及び民間の施設と機能が重複している公共施設
- 5.老朽化が進行している公共施設
- 6.機能が他より劣っている公共施設
- 7.資産価値が高く、多くの売却益が見込まれる公共施設
- 8.わからない
- 9.その他



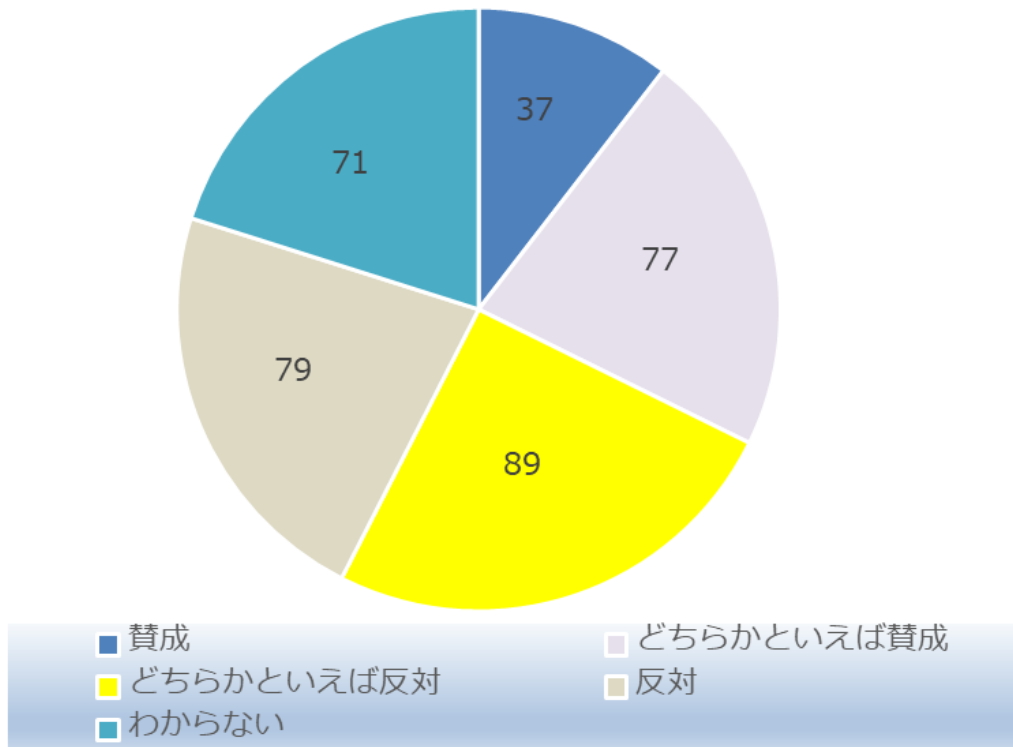
※回答数が多い順に「利用者が少ない施設」、「一部にしか使用されていない施設」、「老朽化が進行している施設」となっています。

幅広く多くの市民に使用されている施設とは言えないものは削減の検討を行うべきであるとの意見が約5割強との結果になっています。

また、老朽化が進行している施設も存廃の検討を行う対象と考える方が多いと言えます。

10.地区集会所などの地域活動に密着した公共施設は、市が所有する施設を町内会等に譲渡し、町内会等において維持管理を行うという考え方について、どのように思いますか。

1.賛成 2.どちらかといえば賛成 3.どちらかといえば反対 4.反対 5.わからない



※賛成は約 3 割、反対は約 5 割と町内会等において維持管理を行うことについては、反対と考えている方が多い結果となっています。

現在、地区集会所は「北広島市住民集会所貸付規則」に基づき、町内会に無償貸付を行い、燃料・光熱水費等は町内会負担、修繕については市において実施しています。